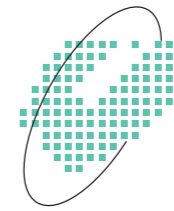




▲ 立山連峰 (撮影：広報委員 濱 一男)



確かなものを 地球と未来に 日建連



特集1 — けんせつフェア北陸 in 富山2019

特集2 — 建設技術報告会

特集3 — 親子工事見学会・市民現場見学会

67 2020.2



### 会員各社名

アイサワ工業(株)	オリエンタル白石(株)	大成ロテック(株)	東洋建設(株)	(株)北都組
青木あすなる建設(株)	(株)加賀田組	大日本土木(株)	戸田建設(株)	(株)本間組
あおみ建設(株)	鹿島建設(株)	大豊建設(株)	飛鳥建設(株)	前田建設工業(株)
(株)安藤・間	(株)熊谷組	(株)竹中土木	西松建設(株)	(株)丸山工務所
石黒建設(株)	五洋建設(株)	田辺建設(株)	日特建設(株)	三井住友建設(株)
岩田地崎建設(株)	佐藤工業(株)	鉄建建設(株)	日本国土開発(株)	みらい建設工業(株)
(株)植木組	清水建設(株)	東亜建設工業(株)	(株)福田組	名工建設(株)
(株)大林組	(株)銭高組	東急建設(株)	(株)フジタ	りんかい日産建設(株)
(株)大本組	第一建設工業(株)	東鉄工業(株)	(株)不動テトラ	若築建設(株)
(株)奥村組	大成建設(株)			



67 2020.2

発行 一般社団法人 日本建設業連合会 北陸支部 広報委員会  
〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地1(興和ビル7F) TEL(025)285-8886

印刷 新潟中央印刷

2020.2.15 発行



一般社団法人 日本建設業連合会 北陸支部

### ¶\> 0 Äq`h® ç½qÔ\_¶q> %5

[ t'~Ë•  
•à ] ©èiá D zÔŠPfÀÈùqznšæ 5wç½qÔ\_¶q t'~Ë••à >%5`¶`h{  
sxÚTG¶••pq,k¶`w á\ Èw€C>ÖV¶`h{  
¾pšæÝti" Èzù- È

¶_¶œ ç Ut£	ýÁúÇÜÈ q.!)ÄÄ C« •+3fÔŠ	Tª +àTª í+ øðç<+» Ä C« •ýÁç ª» •b!-èæª-> y> ž% 'Ä.
---------------	----------------------------	--

¶_¶œ	) ÚTf DÜÄTÉç» Ä C« •zn•MTªÄ ª» •ÖÜqp G;È	'@•O » Ä C« •qæSO . "Pf-á afT<š ;ïGUšp ª» •P-æTMÖ^-zN-ô> > Pf» Äž% 'Ä.
------	--	--

ýÁúÇÜÈ q.!)ÄÄ



) ÚTf DÜÄTÉç» Ä



Tª +àTª í+ øðç<+» Ä



'@•O » Ä



ypÔxšs`pqMÖ\q`K`z`¶\wÇ•hjq-ç wM'U X€C^•¶`hç- ÈxMªç•hj  
xžù>çMsU'µ- 'tqÔ>\_¶`oM¶`h{  
yýÁúw» ÄpxzORçqýðçw%°ôMx"Ü)\_¶`zfw(b^).g`¶`hçhziôM=wÄÄ¶.t  
mMo¶i) VÇ••-ç wMT'(bts"wU,`qMIh™\_< T•¶`h{  
yTª í+ øðç<+» Äç³"çÄ» Äpxzç qpwætÖ"z"çÄÄTÉçwÖ±æ>\_¶`¶`h{w  
'Os< XtGVsÖMÄTÉç>÷loM"\qtç<-ç wM'ç» MoM¶`hçhçz\_¶qt€C`zÓ`  
\_"\qwpVsMÖttÖ"\qUpVz p)špVhqw™\_<K"¶`h{  
yMc•wqÔ\_¶p<z™hjT'xzXwiðUK"zTæ» Ätµ-`Èlo'Qh7t¥M¶by  
y\_¶q%5™wžì-"ÄpxzGRwM'©™<p\_¶qUKlhMU'M@rj'w\_¶q<¶iU,ápüt  
"•bXo'Tihç-ç šw`U T•¶`h{  
y¶h@™\_¶œt-æp,„Mq\`UK"¶bTqMOíðt0`z¼ÜÄTÉçz"qMIhstU Xz™w  
\_¶qw'htpqohMq¥M¶b{  
y7™tSi`Mªp\_¶qt} —ÖV¶`h+3fÔŠ7ýÁç7>xaŠž» w...7z™[s\_¶qqs"  
¶`hçt ÉO]\_M¶`h{

y sw\_¶qxzÔPÈt'®rM -R7Æ`w°q`oçfçqÔw•"UM±-wCôžMw^Ä ¥>  
=pòazqÔi>qwqé>èaowPfçqÔpçX Ý'w R>èšq`o%5`¶`h{  
y7stÄTÉç» ÄwqÔ>Zð`ž» wÄG>Èw0 tÔt| gU[ w!S>» ÄÖT'ÄTÉçw°žp»  
Äw¶i>`oÖV¶`h{  
yÄTÉç» Äxç¶ttÜMÔtpª»`oS"çpÔxÄTÉçw~ÈtæXÄUpVç O;•/5.» Op÷  
Š'•hšGsš-`w°æí tqjÖloÄ`Xti)!Zh\qT'@ Fswtö>f`U'Xo™Žilhž  
@Ó^`•sM`šw`ÄÝ-`\_`ÄZURçrU ¶ihšrw`UK"¶`h{  
yít@•O» ÄwqÔ>Zð`zPPf+7w gU[ pK"baítÖT' `ª æpª»pw Ôwšsrp  
@•O» Äw¶i>`oÖV¶`h{  
y@•Oíæ» Äpxzš`É6;@wª» èwph`t`ž`éÖpw`Ot(Ètf`tZRoMXÄ•wgr  
> ŠÜáwPfñ¶Æ 0 q'owž Ñ¶>!ZÖ•"+7w È t¶t0b"ž pw-~%7%^Rs  
r •ã±±0fq`oæloM"s tpzTV« Í>¶\t`ü"álo'Os`@qÔpÝbžít7's È>  
æloM"\q•wgrU ¶ihq`w`K"xM -t²Zow'M13wÔqs"¶`h{  
y7™tz\_¶q%5t} —ÖV¶`hzn•MTªÄÚTO' "Äžt7s'|tª» w...7t Xò`z  
š±`í[¶b{

新潟地区

令和元年9月、(公社)土木学会関東支部新潟会および(一社)日本建設業連合会北陸支部の共催による「市民現場見学会(新潟)」を行いました。新潟大学および長岡技術科学大学、長岡工業高等専門学校の方々が多く参加して頂きました。(引率支部メンバー4名、合計56名)

開催日 令和元年9月17日(火)

見学先	坂井輪排水区坂井輪雨水1号幹線下水道工事	鵜川ダム本体建設工事
	発注者：新潟市 施工者：西松・植木・池井・田村 特定共同企業体	発注者：新潟県 施工者：前田・東急・植木特定共同企業体

坂井輪排水区坂井輪雨水1号幹線下水道工事



鵜川ダム本体建設工事



当見学会は、学生の方々に対し、建設現場のやりがい、魅力を発信するとともに、実際に現場環境を肌で感じて頂き、建設業で働くイメージを作って頂くことを目的としています。

午前の部では「坂井輪排水区坂井輪雨水1号幹線下水道工事」の現場を訪問しました。当エリアでは、集中豪雨などの大量の雨水が下水道に流れ込んだ際に、溢れた水で住宅、道路などが浸水被害を受けないため、雨水バイパス管を整備しています。見学会では、施工状況や使用機械の説明を受け、実際にシールド工事の発進立坑部に入り、総延長約2kmに及ぶ長大トンネルのスケールを感じてもらいました。

午後の部では「鵜川ダム本体建設工事」の現場を訪問しました。鵜川流域では、下流域の洪水被害の軽減、既得農業用水の安定化、河川環境保全等を目的にダム建設が行われています。ダムは、ロックフィル形式であり、本年度から本格的な盛り立てが行われており、見学会では、その盛り立て状況や使用する材料などの見学を行いました。普段見ることのできない大規模なダム建設現場を目の当たりにすることができ、学生たちにも興味を持って頂いたと思います。

見学会後、学生を対象としたアンケートを行いました。多くの学生に建設業界に対し興味を持っているとの回答を頂きましたが、更に「週休二日の確保」、「労働時間の改善」等を望まれる声が多くありました。

今後も「働き方改革」をはじめ、魅力ある建設業へ向けて、更なる注力が期待されます。

見学会にご協力頂きました新潟市様、新潟県様ならびに施工関係者の皆様、誠に有難うございました。

# MY PRIVATE TIME

私のプライベートタイム



西松建設(株)  
北陸支店  
富田 正浩  
Masahiro Tomita

## 「初めての新潟」

令和元年7月に新潟へ着任しました。初めての新潟・北陸勤務です。支店は、昭和30年1月に開設した新潟営業所を前身として、平成17年に新潟県域と北陸3県域を管轄とする支店となり、延べ65年となります。

大変なのは、子供達の付き添いです。試合の日は朝早くから車で会場に向かい、合宿は泊まり込みで一緒に活動します。これで、ウインブルドンにでも出てくれれば左団扇でしたが、世の中そんなに甘くはありません。一方、家内は毎日朝9時から夜の9時までご近所の奥様方とテニス三昧でした。まあ、それでも一家5人、テニスという共通の趣味が持てたことは良かったかなと今では思っています。

新潟を車で走っていると風景が私の故郷である茨城にそっくりなことに気が付きました。田んぼが連なる広大な平野、新潟平野と関東平野(茨城ですが)の風景が似ているのです。そして、生家の田んぼで作っているコメはコシヒカリでした。

温泉巡りが楽しみとなっています。年1回ですので、贅沢をしようと色々場所を探します。結局、伊豆が恒例となりましたが、今回は新潟勤務となりましたので、家族で寺泊温泉に泊まりカニを食べ、弥彦の紅葉を見に行きました。霧囲気があって素晴らしいものでした。仕事柄、大河津分水路も見ました。

単身赴任ですので、可能な限り週末には、帰省しています。

テニスを始めて  
今まで休みというと家族とのテニスでした。きっかけは家内が幼い子供3人を巻き込んで始めたためです。子供はジュニアクラブ、親は地元自治会の市内クラブに入会し、市内のコートで始めました。私も増えた体重を少しでも減らしたく、始めましたが、すぐに膝を痛めてしまいました。



◆自治会テニス仲間と試合後の集合写真  
毎年1回戦敗退です(上段の左から3番目)



◆弥彦公園  
もみじ谷にて紅葉は4分程度でした

温泉巡り  
子供も大きくなり全員就職するとテニス活動も落ち着き、今では年1回の

おわりに  
新潟・北陸に来て1年も経っていませんが、周りの皆さんに教えていただきながら、仕事もプライベートも楽しみが増えてきています。新潟・北陸の方々の温かい気持ちと美味しい食事とお酒とともに日々を過ごしています。

現場で輝く  
けんせつ小町



「けんせつ小町」は建設業で働くすべての女性の愛称です。建設現場で働く技術者・技能者、土木構造物や建物の設計者、研究所で新技術を開発する研究者、お客様とプロジェクトを進める営業担当者、会社の運営を支える事務職など、活躍の舞台は多岐にわたります。

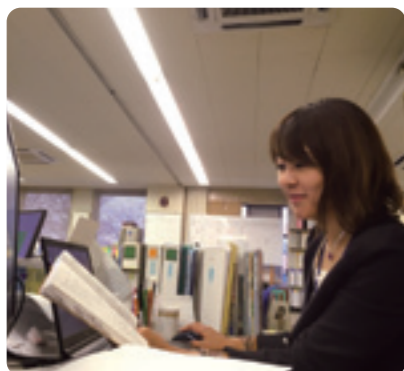
## 「素敵な3K (けんせつ小町が・かつやくし・きぼうが持てる)のために」

### Q. 建設業を目指したきっかけ

A. 私が建設業を志したのは、小さい頃に上越新幹線で新潟県と群馬県の県境にあるトンネルを通過した時のことでした。トンネルのおかげで山を隔てた土地を行き来できることに感銘を受けました。当時Windows95のパソコンでトンネルを造る材料であるセメントや骨材について調べているうちに、コンクリート構造物に興味を湧き、土木構造物を造る建設業を志すようになりました。

### Q. 現在の業務とやりがい

A. 入社後、本社でシールドトンネルの設計に携わった後、現在の部署に配属されてからは、現場の設計支援に携わっています。現場における設計対象となるのは、土留め、支保工といった仮設構造物が中心です。私はそれらの構造計算のチェックを行い、条件は適切か、合理的な設計ができているか、また現場で安全に施工できるかなどを検討し、必要に応じて現場へのアドバイスをしています。部署内で設計の経験がある人は少ないため、重宝され、やりがいを感じます。



仕事の様子

### Q. 建設業界全体に対する思い

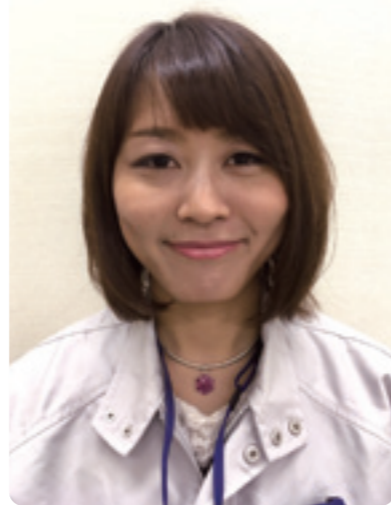
A. 昨今、建設業も働き方改革に迫られており、自分には何ができるかを考えるようになりました。従来の仕事をやるだけでは成果も少なくなってしまう。本当に生産性向上を望むならば同じ仕事を短時間でこなす方法や手間が少ない方法を各々が考え、実行すべきだと考えています。

### Q. 未来のけんせつ小町への思い

A. 年々建設業で活躍する女性が増加しているようです。置かれた状況は様々だと思いますが、一人一人がロールモデルであり、建設業を目指している後輩の皆さんも色々な先輩の働き方を参考にしてほしいと思います。  
建設業で活躍する女性の愛称が「けんせつ小町」に決まりましたが、素敵



旧木山川排水機場



大成建設(株)北信越支店  
土木部技術室

立石 優希

Yuki Tateishi

今回は、大成建設(株)北信越支店に勤務され土木部技術室で現場の設計支援や積算業務に携わっている立石優希さんをご紹介します。

な名称ですね。「小町」からは女性のスマートさが感じられました。

ゆくゆくはどの現場にも女性技術者が配置され、それが普通のこととなるよう、継続的な努力が必要だと思います。

新潟女将の会(以後、当会)は、新潟県旅館ホテル組合(以後、親会)の任意団体で、会員数は約120名おります。

県内の温泉組合から女性役員が選ばれ、幹事役員21名、監事3名により、親会を事務局として運営しております。

このように県単位で旅館の女将がまとまっているのは、全国でも珍しい事です。

成り立ちは、新潟県中越地震(2004/10)の際、風評被害で全くお客様が来なくなり、危機感の高まりから立ち上がった訳です。

新潟県中越沖地震(2007/7)で、さらに強い結束力と信頼関係が生まれました。

独自の事業として、4月下旬、チュー

リップの花摘み(各自持ち帰り、ディスプレイに利用)の他、研修旅行、新年会、スイーツ講習会等をやっております。

後は、親会のイベント協力、新春観光の集いを始め、首都圏観光交流会、旅行会社や新聞社訪問、時にラジオ収録、日中友好のイベント等に参加しております。

数多い行事は幹事が手分けして、新潟県観光振興の為になればと頑張っております。

新潟県は、南北に長いので、四季を長く楽しめ、温泉は泉質も違い、十分県内で楽しんでいただけます。

日本海美食旅(うまさざっしり新潟)海の幸、山の幸、お米は日本一、お酒は淡

麗辛口で日本食に適しており、各酒蔵が工夫を凝らして洋食に合うお酒も作っております。

怖いもの知らず?の女将会が一生懸命観光PRをして行きますので宜しくお願い致します。

少し、自己PR。当館は県内最古の「雪国の宿高半」という旅館です。温泉を発見してから九百余年、尽きる事なく源泉をそのまま湯舟に入れております。温泉業界では奇跡の42℃~43℃を保って、ph9.6でございます。

一度入ると美人になり、二度入ると子宝に恵まれる、と昔から言い伝えられて来ました。

是非、お越し下さいませ。



エッセイ ESSAY



## よりなれ えちご『新潟女将の会』



雪国の宿 高半  
高橋 はるみ  
Harumi Takahashi



## 「幸福に生きる～光輝幸齢者を目指して!」



(一社)新潟県労働衛生医学協会  
専務理事  
**大西 金吾** Kingo Onishi  
(新潟医療福祉大学客員教授)

100歳以上の統計が始まった時の国民は、1961年(昭和36年)153人から2019年の最新統計では71,274人に急速に増加しました。巷では「昔ある所にお爺さんとお婆さんがいました、今は有りとあらゆる所にいます。さらに悲しい言葉ですが昔は親孝行したい時には親はなし、現在は親孝行したくないのに親がいる」厳しい現実を迎えています。

100歳時代はそこまで来ていますが健康でなければ意味がありません。私は講演活動で人が幸せに生きるための5条件を紹介しています。読者の皆様もご参考にして頂き健康寿命を目指して下さい。

1. 最初は何といても**心と身体**の健康です。心の健康は柔軟力があり大きな不安を抱え込まないことです。身体は汗ばむ程度の運動とバランスの良い食事を心がける事です。
2. 二つ目は**人との絆**を多く持って生きることです。人は孤独ほど辛いものは有りません。「喜びは分かち合うことに倍加し、悲しみは分かち合うことによって半減する」名言です。
3. 三つ目は**ご機嫌で生きる**ことです。前向き肯定的に生きている人は元気になるエンドロフィンやドーパミンが活性化して素敵な笑顔になり、豊かな人間関係が構築されます。
4. 四つ目は**学問を生涯続ける**ことです。学ぶことによって知識が豊富になり思考力が身につく様々な人の考え方を受け止めることが出来るようになります。「学ぶとは自分の

心に誠実さを身につけること、教えるとは共に生きる喜びを語ること」素敵な格言です。**笑涯楽習**を心掛けましょう!  
5. 最後はある程度の**経済力**を備えておくことです。「貧すれば鈍す」という言葉がありますが貧しいと生きる意欲を喪失させます。

そして、日頃からユーモアセンスを身につけて人と笑い合うことが出来れば幸せな人生を過ごせるでしょう。「あなた幸せ、私も幸せ、二人合わせてハチアワセです。「一笑一若・一怒一老」の言葉を忘れない**光輝幸齢者**を目指しましょう。



## 「東京から新潟へ…」



株式会社ヒト・コミュニケーションズ 新潟支店  
コーディネーター  
**高木 愛** Manami Takagi

新潟で迎える3回目の冬。毎朝歩いて通勤していると、満員電車で揺られ通勤していた2年前までの東京の生活が時々懐かしく感じます。私も、株式会社ヒト・コミュニケーションズは、人材サービスの提供によりお取引先様の営業支援を行う企業です。私はお取引先様からの要望と求職者の方のマッチングをさせる【コーディネーター】と

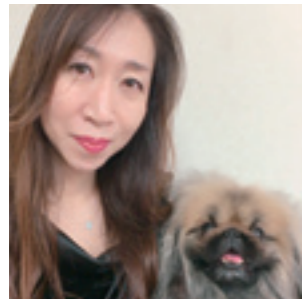
いう仕事をしています。北海道から沖縄まで全国に拠点があるヒトコムですが、まさか自分が24年も過ごした東京から離れるとは思っていませんでした。2017年、人事部長との面談で、「高木さん、もし人事異動が出たらどう?例えば新潟とか。」と聞かれた際に、「新潟ですか?縁もゆかりもない場所ですが辞令が出ればどこへでも行きます!」と元気良く答えたことを鮮明に覚えています。後日、実際に人事発令があり私の名前が新潟支店にあるのを見た際には、面談での言葉とは裏腹に大泣きしていました。家族や友達がない新潟、同じコーディネーター業務を行う先輩や同期もいない新潟、そんな新潟で勤務をするのかという不安。そして新潟に居る自分の姿が想像できなかったからです。実際に新潟に来てから半年程は自分の業務効率の悪さに苦しみ、いかに東京で先輩に頼っていたのかを痛感しました。それでも新潟に来て強く思ったことは、どんなに慣れない環境下でも必ず周りのメンバーが助けてくれること。自身のスキルアップに繋がること。そして慣れた環境から離れる

ことは決してマイナスではなく、多くの経験と成長が出来るチャンスでありプラスであるということです。自分自身がこれからどのような環境で働いているかは分かりませんが、残りの新潟生活を存分に楽しみながら精進して参ります!



# ゆーたいむす

## 「リリーフさんって警備会社だったの!」



リリーフセキュリティ(株)  
代表取締役社長  
**渡邊 亜美** Ami Watanabe

写真と一緒に写っているペキニーズ犬が我が社のイメージキャラクター「ディノ」私の愛犬です。彼との絆は強く、数年前に引退させるまでJKC主催の「チャンピオンシップドッグショー」に全国の開催地まで出向き、ショー犬とハンドラーとしてパドックと一緒にウオーキングしたりカッコよくポーズを取ったりしながら楽しんでおりました。人間界でいうとこ

ろの犬界の「ミスコン」のようなものでしょうか。そういった趣味の世界でご縁が生まれ、イメージキャラクターを描き、誕生させてくれたのが故山本容子画伯でした。犬を描かせたら日本一という先生でした。このキャラクターも会社パンフレット1枚を見ただけで描き上げたそうです。お亡くなりになるまで温かな交流は続き、社員数名と諏訪湖付近のご自宅で宿泊させていただいたり、思い出は尽きません。キャラクターのブルドッグは容子先生の愛犬「ホックン」です。ホックンは様々な形で大活躍してくれていて、新潟駅万代口改札前や万代シティなどの設置看板で登場しています。題名の理由はホックンとディノの活躍が目立つからだと思われ(笑)  
警備の仕事は夏は暑く、冬は寒い中、装備が多い制服を着用しながらのお仕事です。正直辛く感じる日もあるでしょうが、専務(主人です)がスタイリッシュな制服を考案したり、天候の影響に対して様々な工夫をしたりと、小さな企業努力を重ねることで「警備の仕事、カッコいいし、辛くない!」と社員全員

に思ってもらえるような警備会社でありたいです。来年は創立20周年を迎えます。創業時から支えてくださっているお客さまをはじめ、全てのお取引に感謝しながら、皆様のご安全の為に尽力致し「警備のことならリリーフセキュリティ!」と覚えていただける会社でありたいと願います。



## 「伝統工芸を今に」



九谷焼  
**北村 和義** Kazuyoshi Kitamura

九谷焼の窯元に生まれ、45年たちました。高校出るまでは九谷焼に触れたこともなければ、興味も無かった。ただ絵を描くのがなぜか好きだったので何気なく地元の美術系の大学に進み、初めて自分で焼いた九谷焼を見て「私にも九谷焼が作れた!」と驚いたと同時にその色の綺麗さに一瞬にして心を奪われました。卒業し23歳で家業につき今も窯からあがる度に九谷焼の綺麗さに感動して

います。普段の九谷焼の仕事以外に、様々な企業コラボや壺や皿の概念にとらわれない色絵磁器を製作しています。九谷焼の昆虫シリーズなどはカブトムシ・トンボ・チョウ・セミ・バッタ・カマキリと製作してきました。焼物では表現しきれない繊細な足や触覚・体は石川県の隣の富山県の高岡銅器で製作しリアルな昆虫達を再現しながらも九谷焼の緻密な技で描き「これが九谷焼なの!」と驚いて見る方が多いです。またユニクロやコムサなどのアパレルメーカーとのコラボ作品。リーガルとコラボして九谷焼の靴を製作したり、玩具メーカーのタカラミーやガンダム・エヴァンゲリオン・ドラえもんなどなど様々なコラボ作品も製作・発表してきました。どのコラボにしても共通していることは日本の企業であることだと思います。そして世界にメイドインジャパンを打ち出したい時に、日本を演出出来る分かりやすい工芸の一つが九谷焼なのかもしれません。伝統工芸を学び伝統技法を受け継ぐには、常に今の生活に合った物造りをしていかないといけない。和室がない、飾り棚がない、

床がない、今はそんな住宅環境がほとんどだと思います。大きな壺や飾り皿を飾れる所がないのが当たり前になった今、テレビの横に飾れる、壁に掛けられる、リビングに置く、そんな九谷焼を提案し発表していくこと、そして様々な企業コラボしていくことにより九谷焼を知らない世代にもアピールしていくことがこれからの伝統工芸が生き残っていく上で大切なことなのだと思います。



## 2019年度の主な支部活動報告

・関係機関や会員の皆様からご協力をいただき以下の活動を展開してきました。

### 公共工事の諸課題に関する意見交換会

開催日/2019年6月10日(月)  
会場/ホテルオークラ新潟  
内容/ゆう66号2019.7月発行に内容を掲載

### 北陸支部定時総会

開催日/2019年6月10日(月)  
会場/ホテルオークラ新潟  
内容/ゆう66号2019.7月発行に内容を掲載

### 親子工事見学会

実施日/長岡班 2019年7月29日(月)  
見学場所/鶴川ダム本体建設工事・国道8号柏崎トンネル(山岳部)工事  
実施日/新潟班 2019年7月30日(火)  
見学場所/新潟駅付近連続立体交差事業・坂井輪排水区坂井輪雨水1号幹線下水道工事  
内容/建設業の社会的使命や社会資本整備の必要性を広く知っていただくために、夏休み期間中に小学校高学年の児童とその保護者の方を対象に、見学会を実施しました。  
本誌P8・9に掲載

### 北陸電力への本部役員挨拶

開催日/2019年8月2日(金)  
内容/土木本部長をはじめ土木本部役員と支部長により、北陸電力への挨拶を行い、代表取締役会長、社長のご出席をいただき情報交換を行いました。

### 市民現場見学会

開催日/富山・石川地区 2019年7月22日(月)  
見学場所/H29-32金沢東環月浦トンネル工事・梯川橋りょう他工事 金沢大学 学生対象  
開催日/新潟地区 2019年9月17日(火)  
見学場所/坂井輪排水区坂井輪雨水1号幹線下水道工事・鶴川ダム本体建設工事 土木学会関東支部新潟会との共催  
本誌P10・11に掲載

### 東日本高速道路(株)新潟支社との意見交換会

開催日/2019年9月19日(木)  
会場/白山会館  
内容/ホームページに掲載

### 中日本高速道路(株)金沢支社との意見交換会

開催日/2019年10月7日(月)  
会場/白山会館  
内容/ホームページに掲載

### 安全パトロール・現場点検 (9月~10月)

内容/安全環境対策委員会(安全分科会)で新潟、石川の現場パトロール。事故防止対策委員会でも支部合同で火薬類・交通安全・公害防止など点検を行いました。また支部単独でも点検を行いました。



### けんせつフェア北陸in富山・建設技術報告会 同時開催

開催日/2019年10月2日(水)・3日(木) 会場/富山産業展示館(テクノホール) 内容/本誌P3に掲載

### 「土木の日」記念講演会

開催日/2019年11月20日(水)  
会場/日報メディアシップ  
内容/「NEXCO東日本新潟支社におけるリニューアルプロジェクトについて」の講演とコラムニスト深沢真紀さんの「若者や女性が働き続けたい職場とは」と題して記念講演会を土木学会新潟会と共催で開催しました。



### 新潟市議会政策研究会との意見交換会

開催日/2019年11月25日(月)  
会場/新潟市役所

### 労働災害防止安全推進大会

開催日/2019年11月29日(金)  
会場/新潟グランドホテル  
内容/会員会社の建設現場における更なる安全意識の高揚と労働災害撲滅に向け決意を新たにしました。

### 新潟労働局と安全環境対策委員会との意見交換会

開催日/2019年12月4日(水)  
会場/興和ビル  
内容/ホームページに掲載

### 現場代理人等との意見交換会

開催日/2019年12月11日(水)  
会場/白山会館  
内容/ホームページに掲載予定

### 事故防止に関する講習会

開催日/2020年1月21日(火) 内容/建設工事の産業廃棄物等の処理についての講習会を開催しました。  
開催日/2020年2月13日(木) 内容/地下埋設物事故防止についての講習会を開催しました。  
開催日/2020年2月27日(木) 内容/建設工事の交通事故防止についての講習会開催予定  
会場/新潟県建設会館

### 新潟県との意見交換会

開催日/2020年2月6日(木) 会場/白山会館 内容/ホームページに掲載予定

### 鉄道建設工事の諸課題に関する意見交換会

鉄道運輸機構鉄道建設本部大阪支社との意見交換会  
開催日/2020年2月4日(火) 関西支部と合同 会場/鉄道運輸機構 大阪支社 会議室  
JR東日本上信越工事事務所との意見交換会  
開催日/2020年2月19日(水) 会場/白山会館

### 北陸地方整備局との意見交換会

開催日/2020年3月9日(月) 開催予定  
会場/白山会館  
内容/ホームページに掲載予定

### 運営会議

開催日/2020年3月10日(火) 開催予定  
会場/興和ビル

### 北陸地方整備局企画部と安全環境対策委員会との情報交換会

開催日/2020年3月12日(木) 開催予定  
会場/興和ビル  
内容/次号掲載予定

### 講演会

開催日/2020年3月10日(火) 開催予定  
講師/北陸地方整備局  
演題/最近の北陸地方整備局の取組みについて(仮題)

## BACK STAGE 編集後記

2020.2

67

2019年は平成から令和へと元号が変わり、ゴールデンウィークからかなり気温が高く夏は梅雨明けが遅れ、7月中は日照不足や低温に見舞われた一方、梅雨明け後は猛烈な暑さと厳しい残暑が続くなど、天候が極端な夏となり熱中症予防対策が急務となりました。

害に見舞われた地域が数多く、被災された方々にはお見舞い申し上げますと共に今後このような災害が起きないよう国や地方の防災・減災対策に期待し、一人一人が日頃から防災訓練等に心掛け、危機意識を持ちながら安心・安全な日常生活を送れますよう祈念致します。

また、相次ぐ台風の襲来で風水害の被害 (小林 恵一 記)

### 広報委員会スタッフ

委員長 細貝 隆司(五洋建設)  
副委員長 岡崎 豊彦(熊谷組)  
委員  
久保 茂樹(安藤・間) 石附 裕(植木組)  
稲田 克彦(大林組) 濱 一男(大本組)  
垣内 俊彦(鹿島建設) 山崎 和宣(五洋建設)  
小川 晃市(清水建設) 小林 恵一(銭高組)  
迎田 秀樹(第一建設工業) 岩佐 一郎(大成建設)  
小嶋 洋一(東亜建設工業) 津川 圭一(フジタ)  
森田 浩二(前田建設工業) 工藤 悟(若築建設)  
事務局長 本間千代吉(日本建設業連合会北陸支部)